

\*\*\*\*\*

## サマーアート教室

### ～絵を描きたい子、集合！～

\*\*\*\*\*

〈東北コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 夏休みに行きたいところや、想像したことを自由に表現し、  
描画の楽しさを味わう。
- 期 間 平成29年7月22日（土）
- 時 間 午後1時30分～3時30分（計2時間）
- 対象・定員 市内の小学生・20人
- 参加者 9人
- 講師 絵画教室教師 森 千恵子
- 事業内容 夏休みに行きたいところや想像したことを自由に表現して描  
画の楽しさを味わう。持参した水彩絵の具の他に色鉛筆やクレ  
ヨンも使用して描いてみる。

#### ○ま と め

予想したよりも応募者が少なく、集客に苦労した。市のお祭りの日程と重なったことも一因かと思うが、小学生対象の講座は集客が難しい。さらに、キャンセルもあり、出席者は9人になってしまった。

講座当日は子どもを送ってきた親御さんから参観希望の申し出があり、講師の許可を得て、2名が参観した。

子ども達は水彩絵の具や色鉛筆などを使用して、行きたい場所を想像して描いた。全員が集中して取りかかり、講師が一人ずつ回ってアドバイスをした。完成後、全員の作品をお互いに見て回り、講師がそれぞれの作品を講評した。絵の特徴や良いところを説明して褒めてくれた。講師の絵に対する思いが子ども達にも伝わり、終始なごやかな雰囲気で行われた。



\*\*\*\*\*

## 親子陶芸教室

### ～世界にひとつだけの作品作り～

\*\*\*\*\*

〈東北コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 独創的なお皿やカップを作る活動を通して陶芸に親しみ、親子のふれあいの場を設ける。
- 期 間 平成29年12月2日（土）
- 時 間 午前10時～正午（計2時間）
- 対象・定員 市内の小学生と保護者12組
- 参加費 粘土代（1g1円）、当日計量し集金。
- 参加者 12組28人（保護者12人、子ども16人）
- 講師 陶芸工房主宰 佐原朋子
- 事業内容 皿やカップの成形、装飾
- まとめ

人気のある講座で、受け付け開始してすぐに定員に達した。キャンセル待ちを設けたが、キャンセルは出なかった。当日は家族の中で一人欠席という家族が2組あった。参加者はマグカップやカップ、大小それぞれのお皿など、作りたい物を決めて作品作りに集中していた。来年の干支の犬も作った。作品が完成してから重さを量り、1グラム1円の計算で粘土代を徴収した。

作品は工房に持ち帰っていただき、一週間くらい十分乾かしてから素焼きし、透明の釉薬をつけて本焼きして完成となり、2週間後に持ってきてもらった。講座は2時間でも、その前後にかなり時間がかかるが、全てを段取りよく進めてくれる講師のおかげで成り立つ講座である。

親子で作品を作る時間や、出来上がった作品が今後良い記念になってもらえると思う。



\*\*\*\*\*

## 旧暦から知る季節感～月暦の見方と楽しみ方～

\*\*\*\*\*

＜東北コミュニティセンター＞

- 開設の趣旨 月暦の仕組みを知り、その違いのおもしろさを学ぶ
- 期 間 平成29年10月31日（金）
- 時 間 午後1時～3時 （計2時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人
- 参加者 24人
- 講師 月と太陽の暦製作室代表 志賀 勝
- 事業内容 月暦の仕組みを知り歳時、五節句などが本来旧暦に合わせてできていることから、新暦では季節感にずれが生じることを学ぶ。  
旧暦の良さに気づき、古くから月に親しんできた文化に触れる。

### ○ま と め

応募者が大変多く、定員を25名から30名に変更した。それでも多くの人を断らなければならず、人気の高さに驚いた。しかし、一方では欠席も多く残念に思うこともあった。保育付き講座にしたが、受講者はほとんどが50歳以上で、希望者はいなかった。

講座の内容は、日本の伝統行事が本来旧暦に合わせてできていることから、旧暦をふり返ってみること、月の暦の仕組みと楽しみ方を学ぶことだった。後半は質問も多く、受講者の熱心さと興味深さが感じられた。本来、日本の行事は旧暦で行うことが理にかなっていることを知り、二十四節気、七十二候について学んだ。



\*\*\*\*\*

## 子育てラクラク講座

\*\*\*\*\*

＜東北コミュニティセンター＞

- 開設の趣旨
- ・ 幼児期の子育てに役立つ知識や技術を学習する。
  - ・ 保護者が心身共にリフレッシュし、今後の子育てにゆとりを持って向き合えるようにする。
  - ・ 親子それぞれの仲間作りのきっかけとなる場を提供する。

○期 間 平成29年9月29日～10月27日までの毎週金曜日  
(計5回)

○時 間 午前10時～正午 (計10時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人

○参加者 16組 参加延べ人数 54人

○保 育 16人 (男8人、女8人)

○費 用 200円 (サンドイッチ材料代)

○事業内容

| 回 | 月 日       | 内 容                     | 講 師                    |
|---|-----------|-------------------------|------------------------|
| 1 | 9月29日(金)  | オリエンテーション<br>コンサート      | アンサンブルユニットファイ          |
| 2 | 10月 6日(金) | 新座の子育て支援について            | 子育て支援課                 |
| 3 | 10月13日(金) | フォトブックで思い出整理            | フォトブックデザイナー<br>徳本 雅美   |
| 4 | 10月20日(金) | 大切な人へのことばがけ             | 交流分析士インストラクター<br>新島 尚子 |
| 5 | 10月27日(金) | 幼児のおやつについて<br>～甘さを知る実験～ | 管理栄養士<br>鳴嶋 廣美         |

○ま と め

早めにチラシを配布していたが、応募者が増えなかった。また、保育サポーターの確保がとても難しかった。

アンケートの結果を見ると、コンサートは特に反響が大きく、生演奏を親子別々に聴けたことが良かったようだ。受講者集めには苦労はあるが、受講者は参加すれば講座の内容には満足していることがアンケートから分かる。

保育サポーターの方達はとても熱心に取り組んでくれた。受講者は安心して子供を預けることができたという感想だった。

## カラーコーディネイト講座

### ～似合う色を見つけましょう～

\*\*\*\*\*

〈東北コミュニティセンター〉

○開設の趣旨      それぞれ似合う色を知り、洋服選びやカラーコーディネイトの参考にする。

○期            間      平成２９年７月７日・１４日の金曜日（計２回）

○時            間      午前１０時～正午（計４時間）

○対象・定員      市内在住又は在勤の方・１６人

○参加者      １６人      参加延べ人数      ２６人

○講師            ビューティーアドバイザー      柴崎      明美

○保育            ３人（女３人）

○事業内容

| 回 | 月      日    | 内      容           |
|---|-------------|--------------------|
| １ | ７月    ７日（金） | 肌の色の判定、メイクのコツを学ぶ   |
| ２ | ７月１４日（金）    | 似合う色の判定、洋服選びのコツを学ぶ |

○まとめ

受付開始後すぐに定員に達する人気だった。１回目は受講者を２つに分けて、講師２人が一人ずつ全員の肌の色判定をした。また、参加者ひとりにモデルになってもらい、説明しながら時間をかけてメイクをした。２回目は全員に似合う色の判定をしてもらった。４色で３種類の計１２枚の布で首回りを覆って行すが、一瞬の判断が大事であり、迷ってしまうと正しい判定ができないとのことである。参加者も講師と一緒にやっていくうちに、だんだん慣れてきた様子だった。好きな色が似合う色とは限らないようで、様々な発見があった。一人ずつやってもらうため、待っている時間が長かったが、一緒に判定をしていた。

終了後、個人的に質問する人が多かったことはこの講座の特徴かと思う。何歳になってもおしゃれに関心をもつ前向きな姿勢が素晴らしいと思う。保育を付けたので若い人にも参加してもらうことができた。

\*\*\*\*\*

## 園芸を楽しもう～ミニ盆栽教室～

\*\*\*\*\*

〈東北コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨      季節にあった植物を使った盆栽づくりを学び、個性あふれる作品を作り、家庭での鑑賞、そして手入れを楽しむ
- 期            間      平成29年11月8日（水）
- 時            間      午後1時30分～3時30分      （計2時間）
- 対象・定員      市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者          14人
- 講師            グリーンアドバイザー      大島      恵
- 事業内容          スペースをとらずに楽しめる「ミニ盆栽」の作成方法、手入れ方法などを学び、実際に自らの手で作った盆栽を各家庭で鑑賞してもらう。（使用樹木      長寿梅）

### ○まとめ

実際の作業に入る前に、使用する樹木の形、花の色（紅・白）、鉢の色（黒・白）を各テーブル（3～4人）毎に置かれたものから選択してもらったことで、主張、譲歩の会話があり、会場の雰囲気や和んだ。

講師から、盆栽はその見る向き（正面）がポイントであり、一度決定したポイントを外すことなく作業を続けることが大事であるとされたことで、受講者の樹形への意識が高まったようだ。

作業は、鉢への網、針金の取り付けという植え付け前の準備作業に比較的時間を要したが、植え付けは根が乾かないうちに迅速にという講師の指導の下、全員がほぼ同じ時間内に完成することができた。苔と白砂による最終的な表面の仕上げにより、一層個性的な作品になったようだ。

最後に講師から季節に応じた日頃の管理、鑑賞方法などの説明がある中で、定期的な植え替えによって樹形の大きさを維持することも大きくすることもできるとされ、「一定の形、大きさの維持」という盆栽のイメージに対して、手入れの中での自由な楽しみ方があると感じられた。

\*\*\*\*\*

## 文 学 講 座

\*\*\*\*\*

〈東北コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 森鷗外の「青年」を読み解く
- 期 間 平成29年8月18日～9月1日までの毎週金曜日（計3回）
- 時 間 午前10時～正午（計6時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人
- 参加者 30人 参加延べ人数 84人
- 講師 大妻女子大学教授 須田 喜代次
- 事業内容

| 回 | 月 日      | 内 容                               | 講 師                |
|---|----------|-----------------------------------|--------------------|
| 1 | 8月18日（金） | 森鷗外の「青年」を鑑賞し、鷗外や当時の時代背景などを含めて学習する | 大妻女子大学教授<br>須田 喜代次 |
| 2 | 8月25日（金） |                                   |                    |
| 3 | 9月 1日（金） |                                   |                    |

### ○ま と め

今年は、講師から森鷗外の「青年」を新たに岩波文庫化するに関わり新たな発見があったとのことでこの作品に決定した。「青年」は、夏目漱石の「三四郎」を意識して作った鷗外の最初の長編小説である。1回目の講義では、作品に触れる前に作者の経歴から当時の世相等を講師が解説した。

また、鷗外が作成した「東京方眼図」を実際に見ながら主人公の小泉純一が東京を歩く描写の説明を受けた。実際に当時の東京の地図を見ることによって理解が深まったと思う。作品の当時の時代背景の説明を受けたことで、当時の様子が理解できた。鷗外は漱石の「三四郎」とは違う青年像を作ろうとし、時代に真摯に向き合った小説である。

\*\*\*\*\*

## 知っておきたい日本語講座

### ～改まった場での言葉遣い・正しい言葉の使い方～

\*\*\*\*\*

〈東北コミュニティセンター〉

○開設の趣旨 知っているつもりでも、間違いやすい漢字、四字熟語、敬語など、改まった場での言葉の使い方について学習する。

○期 間 平成29年6月13日・27日の火曜日（計2回）

○時 間 午後1時30分～3時30分（計4時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人

○参加者 18人 参加延べ人数 36人

○講師 日本語検定委員会公認講師 新島 尚子

○保育 希望者なし

○事業内容

| 回 | 月 日      | 内 容                   |
|---|----------|-----------------------|
| 1 | 6月13日（火） | 改まった場での言葉遣い・正しい言葉の使い方 |
| 2 | 6月27日（火） | 謙譲語と尊敬語、質問に答えるコーナー    |

○ま と め

人気のある講座で、すぐに定員に達してキャンセル待ちも出た。2年続けたの受講者が3人いた。保育付き講座にしたが、希望者はなく50歳以上の受講者がほとんどであった。1回目は主に改まった場での言葉遣い・正しい言葉の使い方について説明してもらった。特に、仕事の場面では人間関係において失礼にならないような言葉遣いが必要であること、また言葉遣いによって立場が推察されることも学んだ。

2回目は、前もって受講者からの質問を受付けて、それに答える形で講座を進めてもらった。言葉は時代の変遷と共に変化していくもので、若者言葉やテレビの影響が大きいということである。文章が長いほうが丁寧な気がする傾向があり、二重敬語になりやすいとのことである。受講の理由は「正しい日本語を使いたいから」というのが一番多く、意識の高さがうかがえた。

\*\*\*\*\*

## シニアのためのタブレット基礎講座

\*\*\*\*\*

＜東北コミュニティセンター＞

- 開設の趣旨      近年、タブレットの普及が目覚ましい。高齢者にはパソコンよりもキーを打たなくて済むタブレットが手軽であるといわれていることからシニア世代を対象にタブレットがどのようなものであるかを知ってもらい、今後利用するかを判断する機会を提供する。
- 期            間      平成30年1月19日（金）
- 時            間      午前10時～正午      （計2時間）
- 対象・定員      市内在住又は在勤でタブレットをこれから利用予定の50歳以上の方・20人
- 参    加    者      18人
- 講            師      KDDI 認定講師    三島 将生
- 事業内容      これからタブレットを利用しようとするシニア世代に基本操作を伝授し、タブレットがどのようなものを理解してもらう。
- ま    と    め

本館としては3回目のタブレット講座である。今年はタブレット購入を検討している人を対象にしたコースの講座を実施した。

受講生は、60代から80代までの方で、既にタブレットを持っている方も何人かいた。タブレットを全く操作できない人は、あまりいなかった。

講師の話していることは、理解できているようであった。

受付初日開始早々申込み電話が殺到し、すぐに定員に達してしまった。KDDIの社会貢献事業であり、講師が機材とレジュメを用意してくれた。



\*\*\*\*\*

## 豪華客船の旅

### ～カリブ海とドナウ川、魅力的な船の旅～

\*\*\*\*\*

＜東北コミュニティセンター＞

- 開設の趣旨      海外旅行が盛んになった今日、ツアー旅行から個人旅行まで形態は多様である。今回は、船旅にスポットをあて様々な船旅の魅力を紹介した。
- 期            間      平成30年1月30日（金）
- 時            間      午後1時～3時      （計2時間）
- 対象・定員      市内在住又は在勤の方・25人
- 参 加 者      19人
- 講            師      トラベルライター 大和田聡子
- 事業内容      海外での様々な船旅のクルーズを紹介し、船旅での利点や楽しみ方などを学ぶ。

#### ○ま と め

定着しつつある東北コミセンの旅行講座シリーズの位置づけで今年も海外旅行を取り扱う講座を実施した。今回は豪華客船の旅ということで、カリブ海の豪華客船とドナウ川クルーズに焦点をあてた。海外での船旅というと、世界一周クルーズという壮大な船旅を想像しがちであるが、船旅の中には数泊程度のものもあり、実は気軽にできる船旅もあるということであった。船旅のよいところは、宿泊と移動が一緒にできるところである。また、移動がないので、荷物の出し入れや食事場所を探す苦労がないことがクルーズの魅力である。

講師の撮った写真を見ながら皆熱心に聞いていた。男性受講者も多かった。



\*\*\*\*\*

## 寺院を散策する～小江戸川越七福神めぐり～

\*\*\*\*\*

〈東北コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 参拝すると災難が除かれ幸福が授かると言われる七福神が祀られる川越の寺院を巡り、講師の説明によりその歴史、地域の文化などに触れる。
- 期 間 平成29年11月29日（水）
- 時 間 午前9時30分～午後1時 （計3時間30分）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・15人
- 参加者 13人
- 講師 川越市シルバー人材センター観光グループ 渡辺 稔
- 事業内容 川越駅東口広場9：30集合～妙善寺～天然寺～喜多院～成田山～蓮馨寺～妙昌寺～見立寺～菓子屋横丁・蔵造りの町並み～（昼食後、自由解散）

### ○まとめ

天候にも恵まれ、参加者は明るい表情の中、講師の先導により出発した。

講師の説明は、七福神はもちろんその寺にまつわる様々な話であったり、地域の暮らしの様子であったり、その地域の地形の話など広範に及び、参加者からの質問も数多く出された。また、七福神が祀られている寺院以外の寺社にも立ち寄って簡単な説明を受けることにより、参加者はさらに見聞を広めることができたようであった。

参加者の多くは、最盛期ではないものの境内の紅葉に寺院の建造物と青空を組み合わせた写真撮影を楽しんでいた。全長約6kmという長丁場であり、後半はやや疲れの見える参加者もいたが、「菓子屋横丁」、「蔵造りの町並み」の見学という終盤で趣が変わったこともあり、全員が最後まで散策を楽しんでいた。

終了後、参加者からは「普段の個人、家族で訪れる場合と違い、講師の説明を聞きながらの散策は別な意味で有意義であった。」「今後もこのような講座は続けてもらいたい。」などの意見が寄せられた。

## 男女共同参画合同セミナー企画準備会

〈東北コミュニティセンター〉

○開設の趣旨 性別にとらわれることなく、一人ひとりの個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現を目指して、中央、野火止、栄東北の４館合同セミナーを企画する。

○期 間 平成２９年７月２０日、８月２４日、９月２８日、平成３０年３月２２日の木曜日（計４回）

○時 間 午後２時～３時３０分（計８時間）

○参 加 者 ９人 参加延べ人数 ３１人

○事業内容

| 回 | 月 日（曜日）  | 内 容                  |
|---|----------|----------------------|
| １ | ７月２０日（木） | セミナーの日程、セミナー案について    |
| ２ | ８月２４日（木） | セミナーの決定について          |
| ３ | ９月２８日（木） | テーマ、広報（ポスター・チラシ）について |
| ４ | ３月２２日（木） | 報告会                  |

○ま と め

新座市は平成１２年に全国で４番目、県下初の「男女共同参画推進条例」を施行し、平成１３年に「男女共同参画宣言」を行っている。

公民館においては、平成１９年度から４館合同で男女共同参画合同セミナーを開催しているが、多くの方にわかりやすく男女共同参画を啓発するために、企画準備委員会から意見をいただきながら実施するセミナーを企画している。

各公民館推薦の市民の方である企画準備委員（４人）に協力していただき、男性も女性も楽しく学べるセミナーを検討、「杉原千畝」「ソーブカービング」「スパイス講座」「アルパ・フルートコンサート」に決定し、全体のテーマは、昨年と同様の「暮らしのエッセンス講座」とした。

\*\*\*\*\*

## 男女共同参画合同セミナー～暮らしのエッセンス講座～

\*\*\*\*\*

〈東北コミュニティセンター〉

○開設の趣旨 性別にとらわれることなく、一人ひとりの個性と能力を発揮できる男女共同参画社会の実現に向けたセミナーを、中央、野火止、栄東北の4館合同とすることで、より幅を持たせたものとする。

○期 間 平成30年2月9日・16日の金曜日、3日・24日の土曜  
(計4回)

○時 間 午前10時～正午、午前9時30分～正午  
午後1時30分～3時00分 (計7.5時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方 40人 15人 25人 80人

○参加者 27人 14人 28人 84人 参加延べ人数 153人

○事業内容

| 回 | 月 日 (曜日)  | 内容                                          | 講師                                      |
|---|-----------|---------------------------------------------|-----------------------------------------|
| 1 | 2月 3日 (土) | 6,000人の命を救え！<br>～杉原千畝と妻幸子<br>命のビザの物語～       | 日本文学研究者<br>棚木 恵子                        |
| 2 | 2月 9日 (金) | ソーブカービング<br>～せっけんでお花をつくろう～                  | カービング講師<br>福永 智美                        |
| 3 | 2月16日 (金) | スパイス講座<br>～料理の奥行を広げる<br>スパイスの世界～            | 井上スパイス工業(株)<br>会長 井上 和人                 |
| 4 | 2月24日 (土) | ミニコンサート“春の予感”<br>～アルパ弾き語りと<br>フルーツによる名曲の調べ～ | アルパ&ソプラノ<br>池山 由香<br>フルーツ&オカリナ<br>篠原 梨恵 |

○まとめ

誰もが気軽にセミナーに参加してもらい、その中から男女共同参画を意識してもらうことを目的に開催した。

第1回は、「杉原千畝」について当時の世界情勢をふまえ千畝の功績を学び、第2回のソーブカービングは、石鹼をカービングナイフで削り花の形にした。第3回のスパイス講座では、スパイスの説明を受け実際に香辛料の調合を行い、スパイスの香りを楽しんだ。第4回のコンサートでは、性別、年齢に偏ることなく多くの参加者があり、珍しいアルパという楽器の音色に皆聞き入っていた。

## 楽しい英会話（初級）

### ～たずねられた時のために～

\*\*\*\*\*

〈東北コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 外国人に質問された場合を想定して会話を学ぶ。
- 期 間 平成29年11月9日～12月7日までの毎週木曜日（計3回）
- 時 間 午後1時～3時 （計6時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方 20人
- 参加者 20人 参加延べ人数 47人
- 保 育 2人（男2人）
- 講師 英会話サークル講師 Jim Turcotte（ジム ターコット）
- 事業内容

| 回 | 月 日       | 内 容            |
|---|-----------|----------------|
| 1 | 11月 9日（木） | 国名や国籍の表現、地図を学ぶ |
| 2 | 11月16日（木） | 地図を見て道案内の練習    |
| 3 | 12月 7日（木） | ホテルの予約の練習      |

#### ○ま と め

応募者は順調に集まり、キャンセル待ちも設けた。やむを得ない事情で途中でやめた人が出たので、最終的には全員が受講することができた。

外国人旅行者が増えている昨今、道を尋ねられた時の答え方などを中心にすすめてもらった。講師は教え方が上手く、気さくで明るい人柄なので全体的になごやかな雰囲気が進められた。アンケートの結果も良好で、受講者の英語に対する意欲的な様子がよく表われていた。

講座は、ペアの会話練習もあったが、一方では、講師が話すのが多すぎる、もっと話す場が欲しかったという感想もあった。初級として募集したが、その能力は個々によって差がある。しかし、講師がうまく対応してくれた。日本語を一切使わない講座は魅力的だったようだ。

保育付き講座にしたが、希望者は一人だけだった。

\*\*\*\*\*

## 人 権 を 考 え る

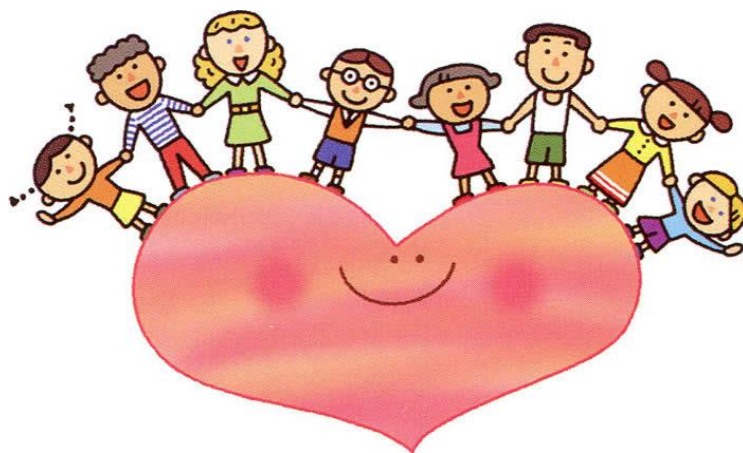
\*\*\*\*\*

### ＜ 東 北 コ ミ ュ ニ テ ィ セ ン タ ー ＞

- 開設の趣旨            利用者懇談会の中で人権について学習する。
- 期            間            平成29年11月11日（土）
- 時            間            午前10時30分～午前11時（計 0.5時間）
- 対象・定員            当館利用者団体代表・78人
- 参 加 者            42人
- 事業内容            人権啓発推進ビデオ「わっかカフェへようこそ」の上映  
和菓子カフェを舞台にしたドラマ仕立てで、「インターネットによる人権侵害」「高齢者の人権」「外国人の人権」を各テーマに3部に分かれているDVDである。  
三つのエピソードを通して、自分も相手も大切にすることができる、自分なりの「ココロ まじわる ヨリドコロ」を作りながら、自分には何ができるのか考える。

### ○ま と め

利用者懇談会の場を借りて、人権啓発推進ビデオを上映した。「インターネットの人権侵害」、「高齢者の人権」、「外国人の人権」と私たちに身近な題材であったため、多くの人が考えさせる内容であった。



## デッサン教室～絵画の基礎を学ぼう～

＜東北コミュニティセンター＞

- 開設の趣旨 初心者を対象にデッサン画の基本を学ぶ。
- 期 間 平成29年5月20日・27日の土曜日 （計2回）
- 時 間 午後1時30分～3時30分 （計4時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・20人
- 参加者 17人 参加延べ人数 31人
- 講師 キッズアートクラブ主宰 森 千恵子
- 保育 1人（男1人）
- 事業内容 初心者を対象にデッサン画の基本を学び、果物や花を描く。

|   | 月 日      | 内 容                  |
|---|----------|----------------------|
| 1 | 5月20日（土） | 丸い果物（りんご、柑橘類、キウイ）を描く |
| 2 | 5月27日（土） | 野の花や枝を描く             |

### ○ま と め

1回目は丸い果物を描くことがテーマで、受講者はそれぞれがりんごや柑橘類を持ってきた。光やその影の様子がよく見えるように、照明を点けずに自然光の中で講座が進められた。受講者は大変熱心で、その集中力には講師も驚いていた。

2回目は講師が自宅の庭から野の花や枝を持ってきてくれた。その中から好きなものを選んでデッサンをした。講師が回って、一人ずつ指導する方法だった。完成後、全員の絵をカンバスに立てて鑑賞した。それぞれの特徴などを説明してもらい、受講者は他の作品を見ることで学ぶことも多かった様子である。個人の良さを褒めて優しく指導する、とてもなごやかで充実した講座だった。保育希望は一人だけだった。

アンケートの結果は大変好評で、全員が楽しめたという感想だったので、良かったと思う。J:COMの取材があり、5月30日に放送された。

\*\*\*\*\*

## シルクロードの文化と暮らし

### ～ウイグル・チベット・トルコ～

\*\*\*\*\*

＜東北コミュニティセンター＞

○開設の趣旨      シルクロードの３つの国を取り上げる。それぞれの国の出身者やボランティア経験者の話を通して、異文化への理解を深める機会とする。

○期                  間      平成３０年２月２１日～３月７日の毎週水曜日（計３回）

○時                  間      午後１時～３時          （計６時間）

○対象・定員      市内在住又は在勤の方・３０人

○参加者          ２８人          参加延べ人数      ７６人

○事業内容

| 回 | 月 日      | 内 容       | 講 師                                     |
|---|----------|-----------|-----------------------------------------|
| １ | ２月２１日（水） | 新疆ウイグル自治区 | 埼玉県国際交流協会会員<br>ウイグル料理店経営<br>アイトルソン・トホティ |
| ２ | ２月２８日（水） | チベット自治区   | 埼玉県国際交流協会会員<br>映画製作・翻訳<br>ロディー・ギャツォ     |
| ３ | ３月 ７日（水） | トルコ共和国    | 埼玉県国際交流協会会員<br>元シニア海外ボランティア<br>里見 洋司    |

○ま と め

受講者は定員に対してちょうど良い人数が集まった。出席率も良く、大変熱心に参加してくれた。本講座の講師は埼玉県国際交流協会設立３０周年記念事業として派遣していただいた。それぞれの経歴や職業が様々なので、違った観点から話をしてくれて大変興味深かった。特に、ウイグルとチベットは自治区という特殊な環境であるために、政治的な内容にも触れざるを得ず、その悲惨な実情などに感銘を受けたという意見が多かった。また、他国の状況を知って、恵まれている現在を再認識したという意見もあった。

講師が自ら故郷を撮影したチベットの映画を見たり、トルコの体験を書いた本の紹介もあった。２回目はJ:COMの取材が入り、翌日放送された。

\*\*\*\*\*

## 心身リセット タイ式ヨガ教室

\*\*\*\*\*

〈東北コミュニティセンター〉

○開設の趣旨 タイ式ヨガの基礎を体験し、心身共に元気になり、明日への活力につなげる。

○期 間 平成29年5月23日～6月6日までの毎週火曜日（計3回）

○時 間 午前10時～正午（計6時間）

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人

○参加者 29人 参加延べ人数72人

○保育 6人（男2人 女4人）

○講師 日本ルーシーダットン普及連盟認定インストラクター  
高橋優子

○事業内容 ヨガを通して身体も気持ちも元気になる機会を提供する。

| 回 | 月 日      | 内 容                    |
|---|----------|------------------------|
| 1 | 5月23日（火） | ストレッチと骨盤中心のヨガ          |
| 2 | 5月30日（火） | ストレッチと姿勢矯正             |
| 3 | 6月 6日（火） | ストレッチとリンパマッサージ、肩まわりのヨガ |

○ま と め

大変人気のある講座で、申込受付初日に定員に達してしまい、その後も問い合わせが多かった。受講者の年齢は30代から60代まで幅広く、保育希望者は5人だった。前半はストレッチで、後半にヨガを行った。腰痛、骨盤矯正、肩こりを中心に指導してもらい、参加者は大変熱心に取り組んでいた。

アンケートの結果は大変良く、今後も継続しての開催や回数を増やして欲しいという声が多かった。自分の時間を持て、リラックスできたという声も特徴的だった。若い受講者が多かったが、ホームページを見て応募した人はなく、友達に誘われたという理由が多かった。

## 芸術鑑賞講座

### ～実は身近なミュージカル～

\*\*\*\*\*

〈東北コミュニティセンター〉

- 開設の趣旨 ミュージカルとはどういうものを学習し、その舞台裏やおもしろさを知る。歌と芝居も体験してみる。
- 期 間 11月15日・22日、12月6日の水曜日（計3回）
- 時 間 午後1時～3時（計6時間）
- 対象・定員 市内在住又は在勤の方・30人
- 参加者 27人 合計61人
- 講師 演出家、十文字学園女子大学講師・清水裕明  
ダンスインストラクター・西綾夏

#### ○事業内容

| 回 | 月 日       | 内 容                      |
|---|-----------|--------------------------|
| 1 | 11月15日（水） | 日本のミュージカルの歴史、主なミュージカルの解説 |
| 2 | 11月22日（水） | 「ダンシングクイーン」のダンス練習        |
| 3 | 12月 6日（水） | 「ダンシングクイーン」のダンス、歌の練習と発表  |

#### ○まとめ

ミュージカルについて3回連続して学ぶ内容にした。1回目は「見上げてごらん夜の星を」が日本で最初のミュージカルの中で歌われた曲であることを学んだ。また、世界的に知られている有名なミュージカルについて説明してもらった。2、3回目はダンスインストラクターも加わって「マンマミーア」の中の「ダンシングクイーン」の曲に合わせてダンスの練習をし、歌の練習もした。それらを合せて、最終日には短いながらもひとつの作品が完成した。受講者はとても生き生きと、講師2人を囲んで楽しく表現することができた。アンケートの結果を見ると、踊ることの楽しさを体感できたという感想が多く、意識の高さが伺えた。

## ピアノと歌のウィンターコンサート

\* \* \* \* \*

＜東北コミュニティセンター＞

○開設の趣旨      ディズニー・ミュージカル・ポップスなどおなじみの曲を地域の皆さんに楽しんでもらう。家族で参加し、世代を超えて地域の交流や活性に役立てる。

○期 間 平成29年12月9日（土）

○時 間 午後 1 時 3 0 分～ 3 時 (計 1. 5 時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の方・100人

(小学生以下は保護者同伴)

○参 加 者 1 0 8 人

○事業内容 

|    |
|----|
| 1部 |
|----|

 恋

赤鼻のトナカイ  
クリスマスドレー  
Fly me to the moon  
きりの木  
川の流れるように

**2 部** 情熱大陸

ハイホー  
ありのままで  
アンダーザシー  
ルパン3世のテーマ  
ミュージカルメドレー  
愛をありがとう

|         |         |        |
|---------|---------|--------|
| ○ 演 奏 者 | ピアノ     | 堀家 徳子  |
|         | サクソ     | 宮越 悠貴  |
|         | パーカッション | 中村 康伸  |
|         | 歌       | 五大 輝一  |
|         |         | わたりあずさ |



## ○ま と め

毎年1回実施するコンサートである。今回は子ども達も一緒に楽しめるファミリーコンサートの形にした。幅広い年齢の方に楽しんでもらえるように、曲もバラエティに富んだ内容だった。すばらしい演奏の他に芝居もあり、大変楽しいひとときを過ごしてもらえた。歌手の二人は歌だけでなく、豪華な衣装の早着替えで会場を盛り上げてくれた。サクソなど楽器の演奏もすばらしく、終了後は帰りがけに感想を言ってくださる方が多数いた。地域の方に生演奏の良さを提供して楽しんでもらえて、とても喜ばしいことである。

申し込み者が多数だったので、当日受付はしなかった。



\*\*\*\*\*

## 外国人のための日本語教室

\*\*\*\*\*

＜東北コミュニティセンター＞

- 開設の趣旨      日本語を母国語としない人を対象に、日本語の学習と地域社会での生活の円滑化を支援する。
- 期                  間      平成２９年４月２日～平成３０年３月２５日までの毎週日曜日      計４３回
- 時                  間      午後６時３０分～８時      （計    ６４・５時間）
- 対象・定員      日本語を母国語としない外国人    ・６５人
- 参加者      ８７人                  参加延べ人数    ７１２人
- 事業内容      日本語の学習、指導及び生活の円滑化について参加者へ支援を行う。

### ○ま      と      め

平成２０年度から新座日本語の会と共催で始め、今年度で９年目となる。学習者の国別ではベトナムとフィリピンが圧倒的に多く、ベトナムは圧倒的に男性が多い。他には中国、韓国、インドネシア、パキスタン、台湾、メキシコ、ネパール、インド、タイ、ブラジル、など多くの国、地域から参加している。

夜間講座なので連続しての出席はなかなか難しいようである。入門レベルの受講生がほとんどで、日本語のみならず、日本の文化についての紹介もしている。本市及び近隣地域において今では日本語を学ぶのに不可欠な存在となっている。



\*\*\*\*\*

## イキイキ実年学級

\*\*\*\*\*

〈東北コミュニティセンター〉

○開設の趣旨 知識を高め、健康で楽しい生活が送れるよう、地域の高齢者の仲間づくりを後押しする。

○期 間 平成29年6月2日～23日までの毎週金曜日 (計4回)

○時 間 1・2・3回目 午前10時～正午  
4回目(館外学習) 午前9時～午後5時 (計14時間)

○対象・定員 市内在住又は在勤の60歳以上の方・25人

○参加者 25人 参加延べ人数96人

○事業内容

| 回 | 月 日      | テ ー マ     | 講 師                    |
|---|----------|-----------|------------------------|
| 1 | 6月 2日(金) | 交通安全教室    | 新座警察署 交通課<br>小竹 幸男     |
| 2 | 6月 9日(金) | 味覚を鍛えよう   | 管理栄養士<br>鳴嶋 廣美         |
| 3 | 6月16日(金) | 宝塚歌劇の魅力   | 十文字学園女子大学 准教授<br>加藤 暁子 |
| 4 | 6月23日(金) | 松戸市 戸定歴史館 | 東北コミセン職員同行             |

○ま と め

毎年、人気ある高齢者学級である。参加者のほとんどが女性。男性は3人であった。

第1回目は新座警察署交通課職員による交通安全教室。埼玉県は死亡事故が全国2位とのである。新座市で実際に起きた死亡事故の状況の講義をうけ、DVDを2本鑑賞した。

第2回目は味覚を鍛える食事。講師が砂糖水と食塩水を作り、冷水と温水と常温水とで同じ濃度でも温度の違いで甘さや塩辛さの違いを体験した。グループワークで発表も行った。

第3回目は宝塚歌劇の魅力ということで、宝塚歌劇の始まりから現在までの講義を行い、DVDで宝塚歌劇を鑑賞した。女性にはかなり好評であった。

第4回目の館外学習は、千葉県松戸市にある戸定邸と柴又の散策を行った。柴又では、寅さん記念館や帝釈天を見学し、皆さん満足している様子だった。